

平成25年度 新たな学校防災教育モデル校の取組

1 重点取組事項

- 1 新防災教育副読本を活用した校内の年間指導計画作成
- 2 新防災教育副読本を活用しての授業実践
- 3 地区ごとの危険・安全箇所のチェックと児童への意識付け
- 4 急な大雨・雷・竜巻から身を守るための学習

2 重点取組事項の具体的な内容

- 1 新防災教育副読本を活用した校内の年間指導計画作成
 - ・どの時期にどんな指導をしたらよいか学年で検討する。
- 2 新防災教育副読本を活用しての授業実践
 - ・自由参観において、全校で防災学習を公開する。
 - ・指導に当たってどのように副読本を活用したか情報交換する。
- 3 地区ごとの危険・安全箇所のチェックと児童への意識付け
 - ・保護者と児童と一緒にチェックをすることで、防災意識の向上を図る。
 - ・たてわり集会で地区ごとに危険・安全箇所を確認し、共通認識をさせる。
 - ・高学年児童に地区のリーダーとしての意識を持たせる。
- 4 急な大雨・雷・竜巻から身を守るための学習
 - ・VTRを活用した授業を行い、自然災害時の対応を学習させる。
 - ・ニュースで見ている他地域の災害が、身近でも起こりうることを、VTR資料を視聴することで意識させる。

3 成果と課題

成果

学習を通して自然災害について、誰でも、どこにいても起こりうるという認識を児童に持たせることができた。

昨年に引き続き、保護者と児童と一緒に「安全・危険箇所」のチェックや家族防災会議を行うことで、家庭での防災意識が高まった。

たてわり防災集会を通して、児童は、リーダーを中心に、学校外での自分の身の守り方や地区での安全な場所を確認することができた。

長町中学校区モデル校連絡協議会での取組を通して、他校との情報交換ができた。

課題

校内での防災教育の位置づけ

合同の防災訓練を意識した地域との連携の在り方